

52

日本ユニシス (株) ▶ BEMS: (学) 日本医科大学【東京都、千葉県、神奈川県】、MEMS: (株) トーエネック【愛知県】

EMS (エネルギー管理システム) 製品 / BEMS「UNIBEMS」・MEMS「Enability」

【BEMS】本プロジェクトは、計測装置を設置することにより、電力使用量を見える化し、お客さまの省エネをサポートする「UNIBEMS」を活用し、日本医科大学主要10事業所の省エネ・節電ばかりではなく、自家用発電設備との連携運用の改善を行う。

【MEMS】(株) トーエネックが保持していた集合住宅一括受電のノウハウと、日本ユニシス (株) のクラウド型エネルギー管理システムとの融合によって生まれたMEMS「Enability」を活用し、電力の供給者・管理者・利用者が一体となって節電に取り組むことのできる独創的なビジネスモデルを確立した。

背景

【BEMS】首都圏に大学、大学院、日本獣医生命科学大学、看護専門学校および大学付属の4病院を擁する日本医科大学関連の事業所は、災害時における医療施設、避難施設として位置付けられる重要な社会インフラ機能を担いながらも、電力・エネルギー需給の切迫時に、節電の社会要請に応え続ける必要がある。こうした状況下で日本ユニシス (株) は、日本医科大学とともに私立医科大学・病院では国内初の事例として、電力・エネルギーの効率運用・省CO2を目指しつつ、災害時においても常に安定した社会インフラ拠点として事業継続を可能とする「グリーン電力トリアージ」プロジェクトを構築した。

【MEMS】(株) トーエネックが従来から提供していた高圧一括受電サービスにスマートメータ等を活用して節電に寄与する機能を付加するため、(株) トーエネックが独自で検討を進めていたが、日本ユニシス (株) EMSサービスとの融合と相乗効果を狙い、日本ユニシス (株) と共同で行うこととなった。あわせて経済産業省の「スマートマンション導入促進事業補助金」の「MEMSアグリゲータ」への採択のために、補助要件への適合を目指し、同サービスを用いて、(株) トーエネックの高圧一括受電を軸としたエネルギーサービスの発展と拡大を狙った。

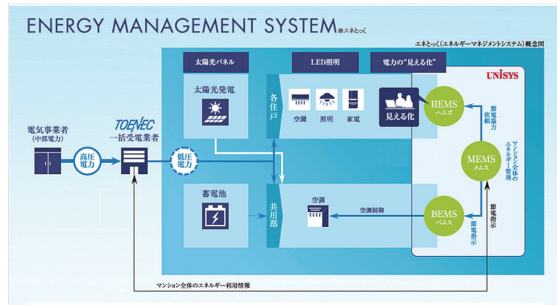
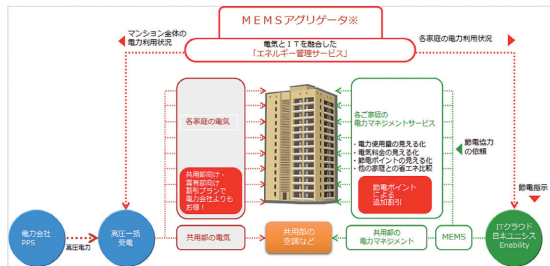
概要

【BEMS】

- 中小ビルや店舗、工場などを対象にエネルギー管理システム (BEMS) を導入すると共に、クラウド等による集中管理システムを構築してエネルギー管理支援サービスを行う。
- エネルギー管理支援サービスは「電力見える化」、「遠隔システムを利用した空調・照明制御」、「メール等を利用したエネルギー逼迫警報の発令」、「アグリゲータからの遠隔制御」、「エネルギーデータからの簡易省エネ診断」等を行う。
- 複数のメーカーのBEMS機器が連携可能。

【MEMS】

- 各戸へのスマートメータの導入により戸単位での電力使用量の見える化を実現。見える化は住宅内のインターフォン画面でも確認できるため、PCやスマホを使用する必要がなく手軽に確認できる。
- さらにユニシスが開発済であったBEMSとの連携により、全体電力使用量と連携しつつ各戸への節電を促す仕組みを確立した。
- 節電ポイントシステムとして各戸へ電力料金の割引が可能になるポイントを付与することにより、住民の自主的な節電への参画を促すことができる仕組みを構築した。
- 加えて、家庭内のHEMSとの連携によりエアコン等の家電を自動制御することができる機能も保持している。



アピールポイント

【BEMS】

- 事業所内の電力使用を複数のエリアに分割して管理可能で、導入実績も多い機器を採用している。
- クラウドの採用により、複数事業所の電力使用量一元監視・管理/制御が可能。
- 空調の自動制御など節電の自動化、省力化を実現できる。
- 複数のBEMS機器や中央監視システムと連携実績があり、既存でEMSシステムを導入しているお客様では、マルチベンダ連携が可能。

【MEMS】

- スマートメータ、HEMS、インターフォンともすべてマルチベンダ対応しており、Enability利用企業はメーカーに縛られることなく事業展開が可能。
- 経済産業省のスマートマンション導入促進事業補助金のシステム要件に完全合致している。
- クラウド型システムで初期費用や利用費ともに安価、導入期間も短く迅速なサービス展開が可能。

日本ユニシス株式会社 [http:// www.unisys.co.jp](http://www.unisys.co.jp)
〒135-8560 東京都江東区豊洲1-1-1 Tel.050-3132-6336 Fax.03-5546-7826